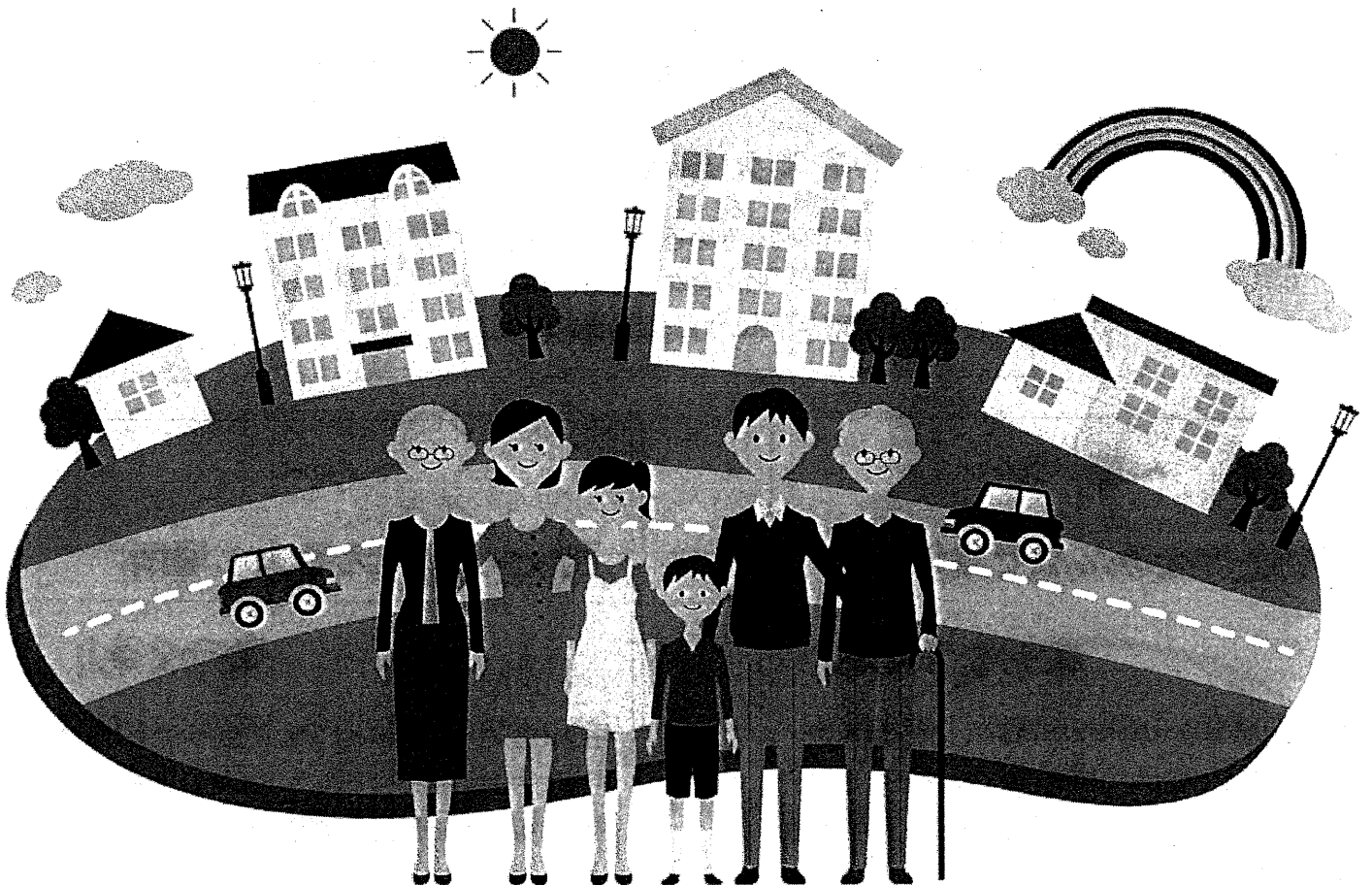


共に生きる

～安心・安全・福祉のまちづくり実践プラン～

第4期地域福祉実践計画

ダイジェスト版



地域福祉実践計画とは？

住民一人ひとりが主体(主人公)となり、地域住民が互いに支え合いながら(共生)安心して暮らせるための「考え方」や「取り組み」について取りまとめる計画です。

地域福祉とは？

社会福祉法という法律に定められています。地域で幸せに暮らすために、自ら住んでいる地域を知り(課題把握)、様々な人や資源が連携(つながり)し、支え合う地域の福祉(幸せ)を目指す考え方です。

第4期計画の3つの目標(柱)

～地 域～

「ひとりを支える地域をつくる」

地域の支え合い活動を進めるキーワードとして「災害」に着目し、町内会をはじめとする地域活動の支援を中心に計画を推進します。

～環 境～

「ひとりをみんなで支える

まちをつくる」

ひとつの課題への対応の充実と、様々な資源・機関が連携し合い、市民全員で支えることができる「福祉のまち」づくりを目指し、計画を推進します。

～人～

「ひとりを支える人・場所

をつくる」

住民の皆さんが主体となり、役割や生きがいを持って社会参加できるよう、人材の発掘と場所の整備を中心に計画を推進します。

3つを柱に「地域・環境・人がつながり、いつまでも幸せに暮らせるまち」を目指します！

具体的取り組み(主なもの)

～地 域～

○災害に関する取り組み

(地域講座開催・災害ボランティア)

DIG(災害図上訓練)・HUG(避難所運営ゲーム)などの

ツールを使い、住民の皆さんと一緒に災害について

考えたり・活動できる機会を増やします。



【災害図上訓練…避難場所等を図面上でシュミレーション】

～環 境～

○多様な資源同士の連携強化

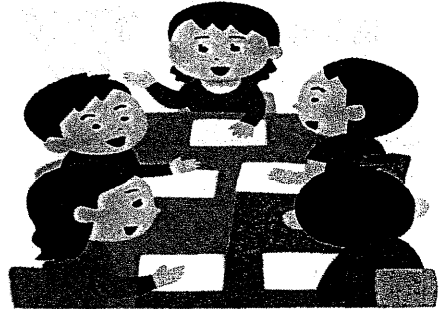
(住民課題調査・ネットワーク会議)

市内にあるたくさんの人・団体・施設・機関の支え合い

の資源が連携するための仕組みづくりに取り組みます。

第4期実践計画策定で行った調査等

- 町内会等活動状況調査
- 住民生活課題アンケート
- 地域福祉懇談会



～人～

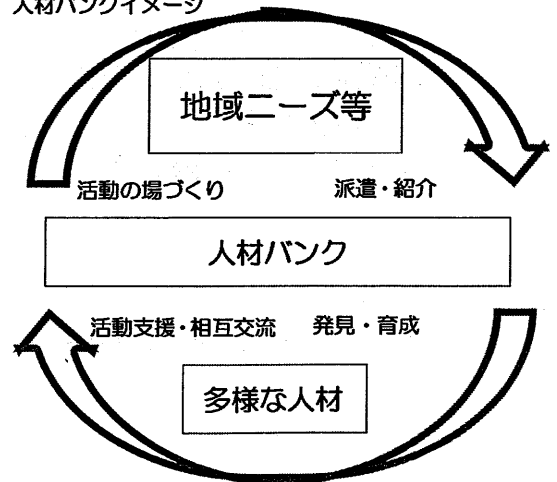
○人がいきいきと生活できる場所を確保する

(社協版人材バンクの設置・運営)

市民2万人のマンパワーを活かし、誰もが生きがいを持って

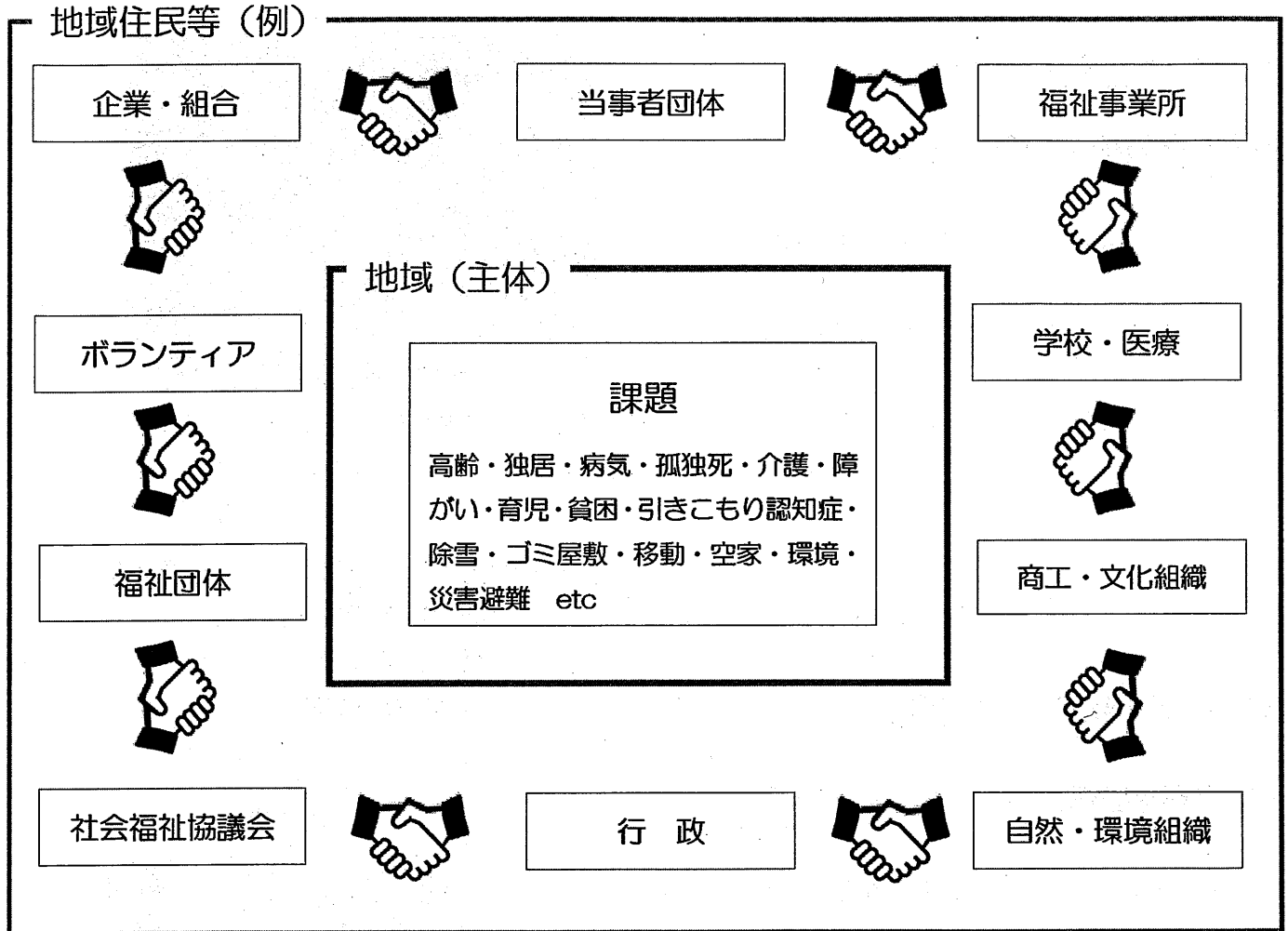
生活できるための、人・場所づくりを行っていきます。

人材バンクイメージ



実践計画で目指すべき姿

第4期地域福祉実践計画 イメージ図



地域福祉実践計画

3つの柱を立て、実践・推進（つなぎの役割）

地域福祉を進めるためには、地域住民等の皆さんとつながり・連携することが必要です。第4期計画はそれぞれをつなぎ、全市的に福祉のまちづくりを進めていきます。どんなことでも結構です、まずは美唄市社会福祉協議会へご相談ください。

美唄市地域福祉実践計画推進会議 / 美唄市社会福祉協議会

事務局 美唄市西3条南3丁目6-2 / TEL 62-0770 / FAX 62-6996